



題字・松尾金蔵書
発行
修猷館同窓会東京支部
事務局
東京都豊島区高田
2-18-21吉田ビル3F
㈱社会工学総合研究所 内



写真提供 大森正憲氏 (昭29辛)

『ことば』と文化

東京修猷会会長 有吉 新吾



『ことば』は民族文化の凝縮といつていいもので、それによって民族の体臭らしきものをのぞいておられます。ですから他民族の文化を『ことば』を通じて移入しようとするとは仲々むづかしい面があるようです。

わが国は昔から中国の文字を借用し、これを表意文字として使ったと同時に表音文字としても活用し、後にはそこから日本固有の『仮名』文字をつくりました。このことはわが国が外国文化を移入する上で大変便利であったと思ふのです。つまり外国の言葉がその音のまま日本仮名で表わされて新しい日本語として通用するからです。

中国では仲々こうはいかないようです。私は昨春秋、夢科のゴルフ場で思いもかけずホール・イン・ワンをやりました。ささやかな記念品にテレフォン・カードを添えてゴルフ仲間にご挨拶することにしましたが、折角だからその時の状況を漢詩にでも纏めてカードに記したらどうかと思ひました。コースは白樺の葉が黄色く、色づいてそよ風に揺れており、後方には八ヶ岳が聳えて空気が清らかであります。そこで『黄葉揺風山気爽』までは一気に出てきました。そのあとの七言の前句『俄起歓声』も事実の描写ですからわけなく考えられたのですが、あとの三文字で『ホール・イン・ワン』をほめ讃えることを表現しなければなりません。第一中国語でホール・イン・ワンを何というかが分らない、そこで知合の中国人に助力を乞いましたところ、翌日その中国人



中国の書家から贈られた
魏の曹操の詩「魏 甄 寿」の一節

がやって来て、中国では『一次進球』と訳すようです、というのです。しかし『一次進球』ではどうにもなりません、あと三文字しかないが何か名案はないかと相談しましたところ、彼はしばらく考えておりましたが、それでは『賛好球』にしたらどうでしょう、中国では野球のホーム・ランも好球です、サッカークラブのホーム・ランも好球ですから、いいです。成程それはいい、ということであとの七言は『俄起歓声賛好球』でどうにか纏まりましたが、外国語を中国語に移すことは仲々簡単ではないようです。

私はずっと昔、アメリカのモンタナ州東北部にあるグラスゴウという小さな町を訪ねたことがあります。用事がすんだ翌日は車で一時間ぐらゐの近くのRANCH(牧場)で『BRANDING』をやるといふので見物に出かけました。『BRANDING』というのは牧草が青くなり犢を放牧に出す前に自分の犢に烙印をつける行事で、この地方では一種のお祭り行事になっているようです。RANCHでは若いジーンズの娘たちが三人がかりで犢を圧えつけ焼酎でジュツと犢に烙印を焼きつけます。生くさい臭いと白い煙がパツとたつて烙印は終了、犢は痛くも痒くもない顔付でビョーンと跳ねてゆきます。

ところでこの烙印の図案は殆んどがアルファベットの組合せで考案されていて、F&Mとといった具合です。中にはH&T(ハートのT)というのもありました。ところで面白いのはこの横に寝たアルファベットを彼等はLAZY(怠けもの)と呼ぶのです。即ち横になったFはLAZY F、同じようにBはLAZY Bというわけです。つまり横になるといふことは怠けものすることなのです。文字を擬人化するなど、ちょっと横文字人種の体臭を感じます。

文芸作品、殊に詩歌などの分野にあつては『ことば』を選ぶことが第一義的な仕事で、民族の個性や情緒はこの分野で最も特徴的に現れます。これを他国の『ことば』に移すことは仲々むづかしいようです。晩唐の于武陵という詩人に次の有名な送別詩があります。

勸酒

勸君金屈卮(君に勸む金屈卮)把手のついで

た金の盃

満酌不須辞(満酌辞するを須いず)

花発多風雨(花発く時風雨多し)
人生足別離(人生別離足る)
日本でも作家、詩人がこの詩の日本語訳を試みております。中でもよく知られているのが井伏鱒二の次の訳であります。

コノサカヅキヲ受ケテクレ
ドウゾナミナミツガシテオクレ
ハナニアラシノタトヘモアルゾ
「サヨナラ」ダケガ人生ダ
しかし私にはどうも原詩の感じが一〇〇%移されているとは思えません。

日本にも古いもの新しいものと日本語ならではの美しい和歌や俳句、詩歌があります。次の三好達治の詩などは度々阿蘇を訪れたことのある私にはなつかしく好きな詩であります。この詩の情緒を中国語や西洋語に移すとなると仲々むづかしいことでしょう。

艸千里浜(抄)

しかはあれ
若き日のわれの希望も
二十年の月日と友と
われをおきていつちゆきけむ
そのかみの思はれ人と
ゆく春のこの曇り日や
われひとり静かたむき
はるばると旅をまた来つ
杖により四方し眺む
肥の国の大阿蘇の山
駒あそぶ高原の牧
名もかなし艸千里浜

ところが自然科学とか商取引に関する分野では外国語の移し入れは割合に容易であり、時には外国語をそのまま使ったほうがより効果的である場合があるようです。これは昭和恐慌で潰れました鈴木商店の支配人金子直吉の話であります。一九一四年七月に第一次世界大戦が勃発いたしますと貿易や海運は大混乱に陥りました。金子は海外各地に布陣した若手優秀からの情報を総合し、早くも開戦三ヶ月後の十一月に『凡ての商品、船舶に対する買出動』の大方針を決定いたします。そして信頼する若い高畑ロンドン支店長に『BUY STEEL, ANY STEEL, ANY QUANTITY, AT ANY PRICE』という電報を打って裁量の一切を彼に委ねております。この電文は私は絶品だと思ひます。そして日本語よりも実感が出ているのではないですか。



▼福岡便り

21世紀の魅力都市づくり

福岡市長 桑原 敬一 (昭15卒)

東京修猷会の皆様には、首都圏を舞台にますます活躍のこ
とと、心より喜び申し上げます。
また、地元福岡への目頃から
のご支援とご協力に對しまして
厚くお礼を申し上げます。

また、一月十七日の阪神大震
災により甚大なる被害を受けら
れた関西修猷会の皆様に心から
お見舞い申し上げます。二度と
この様な悲劇が繰り返されるこ
とがないよう、心から祈願いた
すものでございます。

さて、私は、昨年十一月、市民
の皆様のご支援を得て、第三十
一代市長として引き続き市政を
担当させていただくことにな
り、また、全国市長会会長の重責
も全うすることになりましたが、
今回は、水道の給水時間が制
限されているという特異な状況
のもとでの選挙となりました。

本市は、気象庁観測史上最少記
録という異常少雨による大洪水
に見舞われ、平成六年の五月か
ら十一月までの雨量は、あの「福
岡砂漠」と呼ばれ市民全体が大
パニックに陥る事態が生じた昭
和五十三年の同期間に比べて
も、その六〇〇程度を記録する
に過ぎないという最悪の状況に
追い込まれていたのです。

相手候補は、「雨が降らないの
も市長の責任」と攻めてきます。
常識で考えれば、そんなことは
ないでしょうし、水の確保対
策も着々と進めてきた自負心も
あったのですが、私は、私を信
じ、整然と節水に努め、「一滴の
水も無駄にしない」生活を日々
送っておられる市民の皆様と接
していますと、「何百年に一度の
予見不可能の出来事」との一言
でこの事態を表現し、この問題

を天災として処理してしまうこ
とにためらいを持たざるを得な
かったのです。

私は、この厳しい選挙戦の中
で、「我が修猷館の先輩方が私
の立場であつたらどう対処され
るだろうか」と考えました。そ
して、一冊の愛読書が頭に浮か
びました。それは、昨年亡くなら
れた地元作家の北川晃二先輩の
「黙してゆかむ」という著書で
す。首相、外相として平和の維持
に尽力されたにもかかわらず、
また、太平洋戦争に積極的だっ
た多くの人々が自己弁護に努め
る中で、一言の弁明も行わずに
戦争責任を負って極刑を受け
られた広田弘毅先輩を描いたも
のです。「この大洪水をどう受け
とめたらよいのか」私の結論は、
「黙して行かん」でした。つま
り、福岡市長として私が行うべ
きことは、相手と天災地災論争
をしつたり、選挙用に何やかやと
アピールしたりすることではな
く、ただ、福岡市民に二度とこ
様の苦勞をさせないように一〇
〇年に一度の大洪水にも耐え得
る都市づくりに努めること、そ
れ以外にない心を決めたので
す。

そこで、選挙中は機会ある毎
にその気持ちを「雨が降らない
のも私の信心の足りなさ」と表
現し、また、率直に制限給水につ
いてのお詫びを行い、当選後直
ちに「海水淡水化の導入」、「ダ
ムの連携、貯水の相互融通」、「中
水道の活用」、「湯水専用ダムの
建設促進」など「大洪水にも強い
まちづくりの推進」の実現にと
りかかったのです。そのほか、
様々な試験を修猷魂で乗り切っ
た選挙戦であったことをここに

報告させていただきたいと思
います。

さて、私は、昭和六十一年の市
長就任以来、全市民的立場に立
つて、清潔で公平な市政運営に
努め、一期目は、まず、その遅れ
が目立っておりました市民の日
常生活を支える道路や下水道な
どの生活基盤の整備とともに、
九州、西日本の中枢都市として、
またアジアの交流拠点都市とし
ての広域交流基盤の整備など、
都市としての骨格づくりを進め
ました。そして二期目には「福
祉」「環境」「文化」に軸足を移し、
福岡型福祉社会の構築や環境に
やさしいまちづくり、個性ある
都市文化の創造など、ソフト面
の仕組みづくりに力を入れた
た。

さて、これからの都市につい
てですが、様々な施設が整い、そ
れを運用する仕組みやソフトも
大切ですが、それだけでは本當
の住みやすさは生まれません。
質の高い住みやすい都市をつ
くり、誇りと愛着をもてるまちを
つくるためには、隣人を愛し、自
然を愛し、まちを愛する。このよ
うなハート・心を育み、そこに住
んでいる人と行政とが一緒にな
って考え、そして実行していく
ことが何より大切だと思うので
す。

そこで、三期目は、広範な市民
参加のもと、思いやり豊かな「ハ
ート」を育み、一人ひとりが「や
さしさ」「ふれあい」「ときめき」
を実感できる真に住みやすい都
市として、また二十一世紀にお
いても活力と魅力に満ちた都市
として本市が発展するよう、全
力を傾注してまいりたいと思
っています。

そのため、これからの長寿社
会を高齢者の皆様が、住みなれ
た地域や家庭で生きがいを持っ
て、また、安心して暮らすことが
できるように「ホームヘルプサ
ービス」や「在宅ケア・ホッパ
ー」を充実させ、地域の皆さん
のご協力を得ながら寝たきりに
「しない」「させない」「ならな
い」という「寝たきり三不の運
動」を展開するなど高齢者を見
守り支えあうまちづくりに努め
てまいります。特に、寝たきり
にならないよう、市民の自主的な
健康づくりをお手伝いするため
「健康づくりセンター」を核と
した健康づくりのネットワーク
づくりを進めてまいります。ま
た、こどもたちが自由に集まり
交流できる活動の場を整備する



▼母校便り
修猷館の誇り

館長 船津 正明 (昭32卒)

など健やかな青少年を育むま
ちづくりや子育てのための「フ
ァミリーサポートセンター」の充
実、女性が能力を発揮して安心
して社会参加できるまちづく
りを行いたいと思っています。

そして、いよいよ、目前に迫
つた「ユニバーシアード福岡大会」
でございますが、この学生オリ
ンピックには、世界百三十ヶ国、
地域から六千人を超える選手・
役員が参加が見込まれており、
この八月二十三日から九月三日
までの十二日間わたって開催
することになっております。

最後に、東京修猷会の皆様が
さらに世界に飛躍されますこと
と、本会の更なるご発展を心か
ら祈念いたしまして筆を措かせ
ていただきます。

修猷館は、創立以来二百年
を迎えました。江戸時代の藩校
として創立されたのが天明四年
(一七八四)であることは、御承
知のとおりです。これを記念し
て、平成七年五月三十日に二
百十周年の記念式典を行うこと
にしております。五月三十日を創
立記念日とするのは、福岡県立
修猷館となったのが明治十八年
(一八八五)であり、この開校記
念日が五月三十日であったこと
に起因しています。

一口に二百年と言うのは容
易ですが、その年代の長さ、そ
して「修猷館」という校名が二百
年間生き続けていることは、日
本でも稀であり、驚異の事実で
あることには間違いありません。
しかも、修猷館が現在に至る
も文武両道を実践する学校とし
て存在し、特に大学進学におい

ては、日本でも名だたる学校で
あることは、さらに驚異に拍車
をかけていると思います。

二百年の間に修猷館から果
立つて行った人は、各界各層で
日本を動かし、世界に羽ばた
く人材として活躍していること
は、これまた周知の事実です。と
すれば、修猷館に学ぶ者は、修猷
館に在学する意義を十分に認識
し、修猷館に流れる「修猷魂」を
体得して日本及び世界に貢献す
る有為な人材となるべく努力精
進を重ねる義務を負っているの
だと思います。これを植えつける
のは、修猷館出身の初代館長とし
て職を奉じている私の責務であ
ると感じ、日々生徒に語り続け
ているところです。

さて、修猷館の誇りの第一が
二百年間生き続けている「修
猷館」という校名としますと、第
二は、やはり館歌であると思
います。

修猷館では、全ての学校行事
で館歌を斉唱します。特に、各学
期の始業式、終業式では、館長式
辞と館歌のみです。したがって、
この館歌がどれほど修猷館にと
って重要なものであるかは言う
までもないことです。正式には
「修猷館高等学校」であること
から、校歌というべきものでし
ょうが、今に至るも「館歌」と
して、在校生は、その一つひつ
の行事で声高らかに腹の底から
歌い上げます。卒業式では、全
員が涙して歌います。ともすれば
母校意識が薄れていく現代にあ
って、これほどまでに館歌が愛
され、そして歌われている学校
は全国でも稀だと思います。ま
た、この館歌は、卒業しても同窓

会と名がつくところで必ず歌わ
れ、館歌を歌うことにより、自分
が修猷館の卒業生であることを
認識し、同窓の絆を深めること
になります。肩を組む、輪になっ
て歌う館歌こそ修猷館の誇りで
す。修猷館が高等学校になつて
も、中学修猷館と不変の館歌が
存在し、同窓であれば先輩後輩
を問わず歌い上げる姿に修猷館
の神髄があると思います。

誇りの第三は、修猷館は未だ
に校訓、校則がない学校である
ということです。修猷館の校訓、
校則は「修猷の歴史である」と私
は生徒たちに語っています。「修
猷館二百年の歴史を熟知せよ。
そこに自ら校訓、校則が生み
出される」と言い続けています。
現代の日本に一校ぐらいこうい
う学校が存在してもよいし、存
在しなければならぬと思いま
す。

誇りの第四は、「誇り高き先
人」を有するということです。私
は、日本を動かし、現在、日本の
第一線に立つて活躍している修
猷館卒業の先人を見る時、これ
こそ修猷館の誇りの最たるもの
だと思います。「修猷の先人に続
け」これが生徒たちに言い続け
る私の言葉です。

修猷館が生んだ日本の総理大
臣広田弘毅氏は、自ら計ること
なく、国家社会に貢献する情熱
と気概の精神を母校に残して
くれました。

やがて来る二十一世紀の日本
を担うのは、今学んでいる若き
生徒たちです。修猷館にあって
志高く、夢とロマンを抱きなが
らやがて世に躍り出る若き修猷
生に一段の御支援をお願いする
次第です。

修猷館を心の故郷とする卒業
生の皆様方の御活躍、御発展を
心より祈念いたします。

修猷館を心の故郷とする卒業
生の皆様方の御活躍、御発展を
心より祈念いたします。

修猷館を心の故郷とする卒業
生の皆様方の御活躍、御発展を
心より祈念いたします。

修猷館を心の故郷とする卒業
生の皆様方の御活躍、御発展を
心より祈念いたします。



スポーツはかるく国境を越える

1995年ユニバーシアード福岡大会

(1995年8月23日～9月3日)

ユニバーシアード福岡大会の概要

ユニバーシアード福岡大会では、世界130の国や地域から6000人を超える選手、役員等が福岡に集います。国際都市・福岡を舞台に、これまでにない規模でくりひろげられる競技に、すばらしい記録への期待も高まっています。

〈開催期間〉1995年(平成7年)8月23日(水)～9月3日(日)の12日間

〈実施競技〉12競技 陸上競技、バスケットボール、フェンシング、サッカー、体操、競泳、飛込、水球、テニス、バレーボール、柔道、野球

〈競技会場〉24会場(福岡市21、宗像市1、春日市2)

※ 競技前売入場券 2月1日(水)発売開始

〈入場券に関するお問い合わせ〉
入場券販売管理センター TEL 092-732-4004

1995年ユニバーシアード福岡大会組織委員会

☎(092)733-5200(代表)



'94 二木会から
講演抜粋
黒宮時代(昭41卒)

今年も趣向を変えて毎月開かれていた二木会のサマリーを掲載いたします。年会費をお支払いの方にはこの二木会の通知がいつてもありますが、全員が出席とはいきません。そこでアトラダムに選んだ三つの講演をここに紹介いたします。

活字にする文字に制限があり、実際の講演で伺ったあのエスプリの利いた話が伝わらないのが残念ですが、とりあえず初めての試みとして今回取り上げてみました。

講師 古池 弘隆
◆二十一世紀に向けた持続可能な都市交通◆
現在の都市交通問題の二つの大きな原因は、世界的な都市への人口集中とモータリゼーションです。世界人口は五十五億、毎年一億ずつ増加、そして今世紀末にはその半分以上が都市に集中します。また自動車も急激に増加しています。現在世界には約六億台の自動車があります。毎年二千万台ずつ増えています。そのうち五億台は先進国にありますが、今後、中国やインドのような発展途上国に自動車が増加していき、世界の自動車の台数は間違いなく倍増するでしょう。これらの自動車は都市に集中し、交通問題を悪化させます。

まず交通渋滞。昭和四十年代の半ばに比べると、自動車一台当たりの道路の長さは現在では三分の一になっています。現代の都市は自動車の普及に合わせつつあるため、郊外へのスプロール化と都心の夜間の空洞化が起きているのです。交通事故も増加しており、世界中で毎年五十万人の人が死んでいます。また自動車の燃料である石油資源枯渇の問題以上に排気ガスによる地球環境汚染の問題が深刻になるでしょう。

自動車の増加はバスなどの公共交通機関の経営悪化やサービス水準の低下を招き、それが利用者さらに減少させるという悪循環を引き起こしています。そしてバスの路線廃止は、交通弱者である高齢者や身障者、子供などの移動手段を奪うことになるのです。

このような自動車を中心とした交通の現状からは、将来に向けた持続可能な都市へのビジョンは見えてきません。ではどうすれば良いのでしょうか。

まずフレックスタイム制の導入によりピーク交通量の分散を図る交通需要の平準化や交通信号サイクルの短縮化による交通管制的効率化があげられます。しかし、このような方法による改善には限界があります。最近では自動車の需要そのものを抑制しようという考え方が出てきています。たとえば、アメリカでは自動車の乗車効率を上げるために、カープール運動を推進しています。そのため二人以上乗っている車だけが走行できる専用車線を設置したり、高速道路のランプで優先的に入っている特典が与えられています。またシンガポールのように自動車の都心乗り入れを制限している都市も出てきています。

都市における自動車交通はいずれ限界に達するものと思われまます。そこで、自動車の利用に制限を加え、代替交通機関を整備することが必要になってきます。これまでの自動車中心の社会から、単位スペース当たりの輸送力が高まるに大きい公共交通機関へのパラダイムシフトを図ることが将来への持続可能な都市交通をもたらすことになると思われまます。

このような公共交通を重視した都市は次第に増えてきています。わが国では各地の公共交通システムや名古屋の基幹バス、ガイドウェイバスの例があります。また短距離の交通手段としては、自転車やバイクがあげられます。日本の自転車保有台数は七千万台もありまます。ヨーロッパの都市のように自転車専用道や自転車専用信号、あるいは駐輪場を設置して第三の交通機関である自転車に市民権を与えるべきだと思われまます。

その他交通と通信の代替性や、交通と土地利用の相互依存性についてもこれから考慮していかなければなりません。情報スーパーハイウェイによる在宅勤務などが導入されれば交通量は減ります。このような都市居住などで車を必要となく済むような街づくりを進めていくことも必要となります。ともあれ二十一世紀にむけて持続可能な都市をつくるべくいくためには交通が鍵になるでしょう。

講師 音成 正人
◆ドラマに見る現代の男と女◆
プロデューサーの仕事は、番組の企画、脚本家選定、労務管理、全体の予算の判断まで膨大な岐にわたります。またスタジオ収録には組合問題が関わってきますから常に時間と睨んでいなければなりません。にもかかわらず私はシナリオライターに「ビードロ」の早坂暁のようには遅い作家を決めることが多く、ハードな日程を組むはめになります。

ところでNHKのドラマといえは一年一作主義の大河ドラマがまずあげられますが、歴史のスーパーヒーローの起用で一年間視聴者を飽きさせずに持たせることは結構大変なことです。私は一年一作の大河ドラマは祝賀者にうけているのだから、また日本史を作ってきたヒーローだけ取り上げるのでは敗者の論理というか、落ちこぼれを見逃してしまうのではないかと、ここは歴史の片隅にも光りをと「琉球の風」「炎立つ」の二本をつくり、一年三ヶ月で放送してみました。結果的には馴染みのなさはいなくなつたものの、今まで目の目を見なかったの、今までの歴史の見直しのパワアップに繋がりました。

この十年位ドラマのつくり方が変わりました。男と女の関係や家・家族のあり方などが大きく変わってきた中でテレビドラマも現在模索中です。日本人の行動は集団から、個人へと変わってきました。そして個人の体験、思いが集団の役割より重くなりました。特に最近では家庭における女性の役割、家における女性の位置などをテーマに、群像、氷室冴子などの女性シナリオライターが、いろんな階層の女性たちの本音を書いていきます。彼女たちによって活き活きと写し出される新鮮な女性の姿に時代が変わりつつあることを感じます。

二十年前、テレビドラマの第一世代の向田邦子の「寺内貫太郎一家」や「時間ですよ」などは大家族主義的な中で毎日起きるドラマを取り上げていました。あの頃のドラマにはきちつ

と前提がありました。倉本聰は「北の国から」で、「父親は父親らしく、母親は母親らしく、子供は子供らしく」を描いています。ところが今秋の「北の国から」スペシャル版では、一家離散すなわち「個人」の話へと入っていきそうです。倉本さんは貫して時代を書いていたわけですが、次の時代は、山田太一の「岸辺のアルバム」などでした。当時私は大上段にふりかぶったテーマを考えており、山田太一に話を聞いていきましたら、「もう戦後の経済発展の時代ではない、これから個人の時代だ」と言うのです。私はそこでラフカディオ・ハーンが日本人を、日本人の精神性をどう見たかをテーマにし、「日本の面影」を作りました。外国人の生き方を通して日本人が見えてくる、いきつくところまでいったドラマでした。

これが分岐点となり、以後フジテレビを中心としたトレンドドラマが全盛になりました。以前ならハレークインみたいなでおかしきと言われたものが、個人の生き方の時代になったことで、視聴者に「私のドラマ」として見られるようになっていったのです。

そして最近の「人間失格」では、シナリオライターの意識も相当変わってきています。人間の心の奥底に認める残忍さ、そのような本音を出してきています。これはまた視聴者ももつと本音の部分にドラマへと望んでいるということですね。視聴者の意識が徐々に変わってきているというのが現状です。

銃を保有し、銃は一人一丁、全体では二億丁を越え、しかも一年に四、五百万丁ずつ増えています。増加分の大半は小型で持ち運びに便利な拳銃です。持ち歩くと目立つ銃などには比べ、犯罪に因与することが多いのが拳銃です。

凶悪犯罪の増加と銃増加の関係は一口には論じられませんが、次のようなデータがあります。一九六〇～八〇年の二十一年間で殺人は八五％増え、銃使用の殺人に限れば一六〇％もの増加でした。アメリカの治安は確かに悪化したといえます。年間一万九千人の殺人事件被害者の六割が銃による死亡で、暴発など事故による死者約三千人、銃による自殺者約一万五千人を加えると、毎年三万人以上が銃によって亡くなっています。

日本では拳銃所持は、警察官など職務で持つ者及び特殊な例外を除き、認められていません。銃は許可制ですが、徹底した身元調査が行われます。殺人事件発生率は十万人に一件、嬰兒殺しまで含めて年間千二百件というところですね。銃を使用した犯罪は年間約七十件、殆どが暴力団どうしの抗争です。ただ最近は一般人を狙った事件も起こるようになってきました。

アメリカはその建国の事情から銃に関する規制は無かったのですが、一九六三年のケネディ大統領暗殺事件で犯人が郵送された外国製のライフルを使用したことが問題になり、六八年に起こったロバート・ケネディとキング牧師の二件の暗殺事件を契機に、今日の基本となる銃規制の法律が制定されました。これは銃砲業者に対し、銃製造の許可制、銃の輸入禁止、若年者・一年以内の犯罪者・精神障害者への販売禁止、客の住所・氏名・年齢の記録を義務づけたものです。しかし、この連邦法には不

二木会講演内容					話 題
回	月	講 師			
平成6年	417	1 月	渡辺 俊介	(S 38卒; 日本経済新聞社論説委員)	高齢化社会と年金の行方
	418	2 月	植木とみ子	(S 43卒; 福岡市市民局女性部長)	女性の美しさは都市成熟のバロメーター
	419	3 月	山崎広太郎	(S 35卒; 衆議院議員)	細川連立政権の課題と展望
	420	4 月	露田 栄作	(S 44卒; グローバルコンサルティング・ネットワーク代表)	環境問題から見た企業社会の未来
	421	5 月	黄 順姫	(筑波大学講師)	修猷館同窓生の意識と特性
	422	7 月	古池 弘隆	(S 34卒; 宇都宮大学工学部教授)	21世紀に向けた持続可能な都市交通
	423	9 月	音成 正人	(S 43卒; NHK大阪放送局Cプロデューサー)	ドラマに見る現代の男と女
	424	10月	伊藤 哲朗	(S 42卒; 警察庁交通局交通規制課課長)	アメリカの銃社会と日本人
	425	11月	日高久萬男	(S 36卒; 航空自衛隊幹部学校戦略教官室室長)	国際貢献と自衛隊
	426	12月	忘 年 会		芝弥生会館

日本人を父、アメリカ人を母に持つ少女が、日本の中学校に入學した。

すぐに同級生の「いじめ」が始まり、少女は何回も転校した。ついには数人からカミソリで顔を切られるという事件に発展し、アメリカ人の母親も夫と共に、校長、担任教師と会った。

みなをそのかしてカミソリで切ったと名指された同級生とその両親も呼ばれていた。両親は「うちの子にかぎって」の連発。担任教師も、少女の話を信じなかった。

アメリカ人の母親は、かたくなに否定する同級生の顔を見守っていたが、その子の肩のあたりにかなり大きなあざがあるのに気がついた。

両親に向って「近頃はあざを取る手術は簡単なのに、どうして治療してあげないのですか」と言ったら、その子がひどく泣きだした。そのあと「ね、ほんとうはあなたが切ったのでしょ」と聞かれ、はつきりうなずいた。

アメリカ人の母親は、その手記の中で、同級生の両親のうろたえと、担任教師のばつの悪そうな固い表情について書いていた。

彼女は、「いじめ」をする側の子供達の心の傷と、愛への飢えを的確に見通したのである。

最近、アメリカの新聞にも、日本で「いじめ」の被害者が次々と自殺した事件についての記事が出る。

被害者の状況や、学校教育の問題についての解説は豊富だが、「いじめ」をした生徒達について深く分析した記事はみあたらない。

こういう事件が起るのを防ぐのが、まず教育なのだが、いったん事件が起ってしまったら、加害者である生徒にも注意を払うべきではなからうか。

いくら未成年であるために、刑事裁判を免れるとはいっても、人を死なせたという罪を加害者は、一生、ひきずって生きてゆかねばならない。

大人になり、社会に出てゆく前に、「いじめ」を実行するに至った原因を自ら理解し、罪を悔い、許しを乞い、つぐないをするという「治癒」の作業が完了していなければ、又、他人に精神的、肉体的危害を加えるというパターンをくり返すかもしれない。

その治癒の手助けをするべき大人の集団が、日本の学校制度

それているものである。

又、家庭でも学校でも、真の勇氣とは、弱者を守ることであり、弱者を傷つけるのは卑劣なことであるという価値観を教えられていないために、善悪の判断力そのものがない。

つまり、「いじめ」の加害者は、見事に、親と教師の人間としての不完全さを反映していることになる。

先のアメリカ人母親の手記を読んで、担任教師が、なぜ、生徒それぞれの心を読めなかったのか、不思議だった。親の場合、「盲愛」もあり、自らの子供がはつきり見えない時の方が多いのはわかる。

しかし、多数の生徒に毎日接している教師は、加害者、被害者両方の子供の微妙な表情の変化の意味がわからなかったのだらうか。

これにはいろいろ反論があるだろう。過剰な生徒数、授業の負担、受験競争の圧力。しかし、人間は、心が開かれていれば、他人の心がはつきり見えるものである。むしろ、直観が伝えるメッセージを認めたくないため、教師の心が閉ざされていたのかもしれない。

知識をさずけることだけが教育ではない。

「知育、徳育、体育」という言葉があるが、三者の一つでも欠けると、人間は偏りだす。

徳育ができるのは、親や教師ではない。

ホノルルで開かれた国際高校生会議に出席した時のことを思い出そう。

世界中から集った生徒が、文化、宗教のちがいがわからず、同じことを言った。

「子供は親を見ながら育つのだから、親に、徳の高い、悪に染まらなさい、愛に充ちた生き方をしてもらいたい」。

海外便り

「いじめ」の心理と教育の本質

ハロラン 芙美子(昭37卒)
—在ホノルル—

(撮影/平野正志)

卒業40周年「六八会」が記念総会

平成六年は、六八会(昭和二十一年卒)にとって、卒業四十周年に当たり、東京組と福岡組が合同で記念総会を開くことになった。

場所は両者の中間地点と云うことで建都千二百年で賑わう京都で六月十一日(土)に開催することになった。配偶者同伴可と云うこともあり、総勢百三十人を越える大人数になり、ホテルの手配その他福岡組の久野君の尽力に負うところが多く同君に多謝しきり。東京組は、折角の京都だからと昼間の時間を利用して、普段あまり行くことのない宇治を観光しようとするようになった。宇治名物の「白雲庵」の普茶料理で昼食後万福寺、平等院を見物し、藤原文化の栄華のあとを偲んだ。さていよいよ夜に入って、京都グランドホテルでの総会となったが、卒業以来始めて会う顔もあり、改めて歳月の流れを感じながらも思い出話に花が咲き大いに盛り上がった。恩師の小柳先生もご参加、当時の名講義振りが話題になり、教え子達に囲まれた。

ご協力に感謝!

北嶋雄二郎(昭43卒)

東京修猷会の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、我が四三(よさん)会が総会の幹事学年ということで、福岡、広瀬正副実行委員長以下幹事全員がたいへんお世話になり、本当に有難うございました。

当日は、NHKの音成実行委員の尽力により、地元福岡高校出身の小松政夫氏の友情出席を得て、楽しいパーティとなりましたが、その時披露していただいた質の高い数々のギャグは、小松氏が高校の後輩である漫画家の長谷川法世氏と一緒に親愛なる修猷のため

から終始笑顔を浮かべておられた。また、この席上で長年会の発展のためにとめ役を果たしてこられた久野君に対し記念品を贈呈し、感謝の意を表する感動的な一幕もあった。明ければ六月十二日、日曜日、この日は自由行動とあって、市内観光組は東京組福岡組がミックスでタクシー十数台に分乗して出掛けしたが、このタクシーの手配等で京都在住の中山君にお世話になったことも記さねばならない。京都はそれぞれにとって曾遊の地であるだけに有名な観光名所ではつまらないと云うことで、運転手さんに頼んでとっておきの見所を案内して貰った。平安神宮に程近い禅林寺永観堂では「見返り弥陀」に感心し、血天井や額縁庭園で有名な大原の宝泉院では、その説明に聞き入り、等々一味違った京都見物を楽しんだ。以上一泊二日の思い出に残る旅行であった。

東京六八会平成六年幹事
藤本義幸(昭29卒)

6・17(土)東京修猷会総会開催

今年の総会は、少し趣向を変えて、講演会・総会と懇親会の二部形式での開催を予定しています。戦後50年節目の年に「修猷館気質今昔」をテーマに大いに語って頂こうと幹事一同で準備中です。

同期の皆様お誘いあわせの上のご出席を心よりお待ちしております。

平成7年度 東京修猷会総会のご案内

- 開催日 平成7年6月17日(土) 13:00~16:00
第一部: 講演会 ~パネルディスカッション 13:00~14:00
テーマ「修猷館気質今昔」
総会 14:00~14:30
第二部: 懇親会 14:30~16:00
- 場所 ホテルグランドパレス ダイヤモンド・ルーム
千代田区飯田橋1-1 (TEL) 03-3264-1111
- 交通 地下鉄東西線・半蔵門線・新宿線
<九段下駅> 下車徒歩1分
- 詳細は追ってご案内申し上げます